

ふれあいと
対話が築く
明るい社会

更生保護とっとり

ひまわり

第24号

令和6年6月1日発行 鳥取保護区保護司会 ☎(0857)21-3203

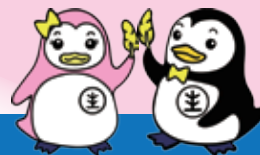
犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力

第74回 社会を明るくする運動

強調月間 7月1日～7月31日 主唱 法務省

更生ペンギンの
ザラちゃん

更生ペンギンの
ホゴちゃん



出発式&ふれあい講演会

とき 令和6年7月1日(月)

ところ 鳥取市民会館
大ホール(1F)

10:00～オープニング 警察音楽隊の演奏
10:30～出発式(大臣・県知事メッセージ伝達)
11:00～講演会(藤澤 武氏)
12:10～閉会

ふれあい講演会

講師 藤澤 武氏
(元 NHKアナウンサー)

演題 「放送こぼれ話」

入場無料

【お問い合わせ】
鳥取保護区保護司会
TEL/FAX(0857)21-3203



第七十四回

社会を明るくする運動

鳥取保護観察所

企画調整課長 近藤 由美

社会を明るくする運動は、戦後の荒廃した社会の中にあつて、かねてから街にあふれた子供達の将来を危惧していた東京銀座の商店街の有志が、保護少年のためのサマースクール開設資金の造成などを目的に開催した「銀座フェア」が始まりとされており、住民の意思によって自発的に生まれた活動(優しいおせっかい)が原点となっています。

その後、多くの方々にご理解とご協力をいただき、回を重ねるごとに地域に根差した全国的な運動として発展し、この度、第74回を迎えることができました。

さて、報道番組で「無縁社会」という言葉が取り上げられて、十余年。戦後の日本は豊かにはなりましたが、経済発展の中で血縁・地縁・社縁などが失われ、今では孤独・孤立が社会問題となっています。孤独や孤立は、心身に有害な影響を与え、時には他人を巻き込む形で表出し、痛ましい事件へとつながることもあります。行政は、孤独・孤立対策や息の長い支援に関する仕組みを作り、懸命にその防止に努めています。果たしてそれで十分なのか、でしょうか。

本運動では犯罪や非行のない地域を作るために、一人ひとりが考え、参加するきっかけを作ることを目指しています。みなさん、これを機会に本運動の原点に立ち返り、少しだけ「おせっかい」始めてみませんか。

裏も必ず見てください

犯罪や非行をした人の立ち直りを 社会の中で見守り、地域のチカラで支えていく。 それが「更生保護」です。

社会の中で必要な支援が受けられず、再び犯罪や非行を重ねてしまう人たちがいます。

犯罪や非行からの立ち直りには、彼らを見守り支える地域社会のあたたかい心が必要です。

皆さんの地域でも、様々な立場から立ち直し支援に協力する「更生保護ボランティア」が活動しています。



鳥取更生保護サポートセンター

地域住民からの非行等の相談を受けます。秘密は厳守します。

一人で悩まず、まずはご相談ください。

相談受付 月～金（土・日・祝祭日は休み）午前10時～午後3時
※事前に必ずご連絡してください。

所在地 鳥取市幸町151番地 鳥取市人権交流プラザ2階
鳥取保護区保護司会事務局 ☎0857-21-3203

ご理解ご協力
をお願いします。



（更生ペンギンでーす）

地域の皆さんからいただいた観察協会費は私たちの更生保護活動に使わせていただいています。

ありがとうございます。